

橋本堅太郎先生 略年譜

- 1930年(昭和 5) 二本松市蓬田出身・彫刻家橋本高昇(本名：留治)の長男として東京に出生
- 1953年(同 28) 東京芸術大学彫刻科を卒業(平櫛田中教室)
- 1954年(同 29) 第10回日展に「少女」を出品し初入選〔昭和31年より連続入選〕
- 1965年(同 40) 『橋本高昇・堅太郎彫刻父子展』を東京・銀座松屋にて開催
- 1966年(同 41) 第9回新日展に「弧」を出品し特選を受賞
- 1970年(同 45) 改組第2回日展に「薰風」を出品し特選を受賞
- 1971年(同 46) 改組第3回日展より出品委嘱となる
- 1975年(同 50) 日展会員となる
- 1982年(同 57) 東京学芸大学教授となる
- 1984年(同 59) 『橋本高昇・堅太郎彫刻父子展』を福島市・中合にて開催
- 1986年(同 61) インド法華ホテル・ラーズギル店の釈迦尊像を制作
- 1989年(平成元) 東京・芝大本山増上寺開山堂の開山上人像を制作
- 1990年(同 2) 日展評議員となる
- 1991年(同 3) 二本松市に『橋本堅太郎後援会』が発足する
- 1992年(同 4) 『橋本堅太郎彫刻展』を東京・日本橋高島屋にて開催
川俣町中央公園の大作「小手姫像」を制作
改組第24回日展に「清冽」を出品し文部大臣賞を受賞
- 1993年(同 5) 『橋本堅太郎彫刻展』を大阪・なんば高島屋にて開催
文化庁主催「第27回現代美術選抜展」に出品
- 1994年(同 6) 東京学芸大学名誉教授となる
- 1995年(同 7) 改組第26回日展に「竹園生(たけのそのう)」を出品
- 1996年(同 8) 前年出品作「竹園生」で平成7年度第52回日本芸術院賞を受賞
日展理事となる 「二本松少年隊群像」を制作し霞ヶ城公園内箕輪門前に設置
日本芸術院会員に就任 二本松市名誉市民に推戴
- 1997年(同 9) 日展常務理事となる
- 1999年(同 11) 日展事務局長に就任 明治神宮神楽殿の狛犬を制作
- 2000年(同 12) 日展理事長に就任 第30回県外在住功労者知事表彰
『橋本堅太郎展』を東京日本橋・大阪なんば高島屋等にて開催
- 2001年(同 13) 日展理事長に再任
- 2002年(同 14) 『橋本堅太郎木彫展』を東京・日本橋三越店にて開催
- 2003年(同 15) 日展理事長に再任
- 2005年(同 17) 日展理事長に再任
- 2006年(同 18) 花巻農業高校創立100周年記念により「宮沢賢治銅像」を制作
- 2007年(同 19) 日展理事長に再任
「喜寿 橋本堅太郎彫刻展」を東京・日本橋三越店にて開催
- 2008年(同 20) 伊勢神宮式年遷宮祭の神馬像6体を完成
- 2009年(同 21) 日展理事長を退任 「旭日中綬章」を受章
- 2011年(同 23) 日展顧問に就任
『橋本堅太郎作品集』を講談社から出版
『橋本堅太郎展』を東京日本橋・大阪なんば高島屋にて開催
文化功労者として顕彰される
- 2012年(同 24) 『文化功労者記念展』を名古屋・松坂屋店にて開催
- 2014年(同 26) 「八重之像」を制作し会津若松市鶴ヶ城三の丸跡に設置
「母子像」を制作し安達ヶ原ふるさと村五重塔に設置
- 2015年(同 27) 岩沼市竹駒神社に「神馬」設置 竹駒神社「神馬」完成記念により『橋本堅太郎展』を仙台市・仙台三越店にて開催
- 2018年(同 30) 高島屋美術部創設110年記念により『米寿記念 橋本堅太郎展』を東京日本橋・大阪なんば高島屋にて開催
- 2020年(令和 2) 安達駅西口設置予定の「智恵子像」を制作(令和3年3月完成予定)
- 2021年(令和 3) 1月31日誤嚥性肺炎にてご逝去 享年90歳